

3 事業報告書

事業報告書

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引 受)

年産	区分	項目	組 員 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金	交付金又は 納入保険料	手持共済 掛 金
3 年産	水	稲	12,230	893,455.6	29,909,795	5,370,851,123	6,978,347		
	陸	稲							
		麦	20	8,363.1	216,662	25,359,141	1,093,418		
		計	延 実 12,250 11,970	901,818.7	30,126,457	5,396,210,264	8,071,765	5,884,297	13,956,062
		前年対比		△ 666	△ 86,623.7	△ 3,490,285	△ 363,531,768	△ 2,675,833	△ 2,849,136
4 年産		麦	16	6,637.4	173,473	21,894,160	964,335	641,206	1,605,541

水 稲

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式、地域インデックス方式

年産	支所別	項目	組 合 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金
3 年産	東	部	4,746	315,650.0	10,384,351	1,840,634,827	2,275,699
	中	部	3,118	229,380.9	7,746,866	1,386,515,377	2,114,702
	西	部	4,366	348,424.7	11,778,578	2,143,700,919	2,587,946
		計	12,230	893,455.6	29,909,795	5,370,851,123	6,978,347
		前年対比		△ 663	△ 85,494.8	△ 3,478,765	△ 366,965,057

品質方式

年産	支所別	項目	組 合 数	引 受 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済 掛 金
3 年産	東	部	0	0.0	0	0	0
	中	部	0	0.0	0	0	0
	西	部	0	0.0	0	0	0
		計	0	0.0	0	0	0
		前年対比		0	0.0	0	0

(引受の概況)

引受面積は約855haの減となったが、主な要因は収入保険への移行によるものであった。収入保険への移行により224戸、760ha減となった。水稲共済と収入保険加入者の合計面積は11,490haとなり作付面積に対し87.4%の加入率となった。

表

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

年産	項目 支所別	組 員 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金
3 年 産	東 部	2	364.4	3,292	68,056	2,069
	中 部	13	6,074.0	163,208	24,623,168	1,069,902
	西 部	5	1,924.7	50,162	667,917	21,447
	計	20	8,363.1	216,662	25,359,141	1,093,418

災害収入方式

年産	項目 支所別	組 員 数	引 受 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済 掛 金
3 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

令和3年産麦の引受面積は、約84haで前年に比べ約11haの減となった。東部支所管内では小麦、裸麦の作付減及び1戸減、収入保険への移行1戸面積は約6.3haの減となった。中部支所管内においては、二条大麦の作付けが減ったものの、新規加入者と小麦の作付が増えたことにより、戸数1戸、面積約0.2haの増となった。西部支所管内では収入保険移行により戸数は2戸、面積は約5.2haの減となった。

半相殺方式、全相殺方式

年産	項目 支所別	組 員 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金
4 年 産	東 部	3	861.9	12,827	703,576	29,309
	中 部	10	5,412.1	147,970	20,974,639	926,688
	西 部	3	363.4	12,676	215,945	8,338
	計	16	6,637.4	173,473	21,894,160	964,335
	前年対比	△4	△1,725.7	△43,189	△3,464,981	△129,083

災害収入方式

年産	項目 支所別	組 員 数	引 受 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済 掛 金
4 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0
	前年対比	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

令和4年産麦の引受面積は、約66haで前年に比べ約18haの減となった。減少の主な要因は、中部、西部支所管内における収入保険への移行によるものである。しかし、東部管内において新規の加入により約5haの増となった。農業保険として、中部支所管内において農業保険未加入者が収入保険に加入したことにより農業保険の加入率は94.5%と前年の90.9%を上回る加入率となった。

(被 害)

令和3年産水稻

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

項目 支所別	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
東 部	人 151	kg 57,583	円 10,712,673	% 0.6	
中 部	102	41,305	7,716,934	0.6	
西 部	109	31,747	5,913,823	0.3	
計	362	130,635	24,343,430	0.5	

品質方式

項目 支所別	被 害 組合員数	生産金額の減少額	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
東 部	人 0	円 0	円 0	% 0.0	
中 部	0	0	0	0.0	
西 部	0	0	0	0.0	
計	0	0	0	0.0	

(被害及び評価の概況)

県下全域において7月上旬の豪雨及びお盆前後の大雨による倒伏や土砂流入、イノシシ・シカ・ヌートリアの食害や踏み倒しが発生した。また、8月の日照不足や長雨の影響により、一部圃場においてイモチ病被害が発生した。

令和3年産麦

一筆方式、半相殺方式、全相殺方式

項目 支所別	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
東 部	人 0	kg 0	円 0	% 0.0	
中 部	4	14,927	2,239,050	9.1	
西 部	1	153	2,754	0.4	
計	5	15,080	2,241,804	8.8	

災害収入方式

項目 支所別	被 害 組合員数	生産金額の減少額	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共済金額}}$	備 考
東 部	人 0	円 0	円 0	% 0.0	
中 部	0	0	0	0.0	
西 部	0	0	0	0.0	
計	0	0	0	0.0	

(被害及び評価の概況)

12月中旬以降の降雨、降雪の影響で、根腐れによる生育不良などの土壌湿潤害が発生した圃場が散見された。また、一部圃場において網班病が発生したが、大きな減収にはならなかった。

(支 払)

区分	項目 支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 金 共 済 金
			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
水 稲 (一筆方式) (半相殺方式) (全相殺方式)	令和3年 12月23日	円 24,343,430	円	円	円	円	円	%
麦 (一筆方式) (半相殺方式) (全相殺方式)	令和3年 9月24日	2,241,804						
計		26,585,234	0	13,956,062	12,629,172	0	0	100.0

(損害防止)

電気柵、ワイヤーメッシュなどの鳥獣害対策費用の一部助成を実施し、損害防止の充実を図った。

(2)家畜共済関係

(引 受)

項目 畜種別	有資格 頭数	事業計 画頭数	引 受 頭数	引 受 頭数	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金	摘 要
				事業計 画頭数					
		頭	頭	頭	%	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾乳牛	8,338	8,149	8,238	101.1	1,886,944,070	85,696,594	85,990,694	171,687,288
	繁殖用 雌牛	4,574	4,543	4,903	107.9	1,560,488,750	14,654,373	14,568,600	29,222,973
	育成乳牛 (子牛等)	6,150	5,969	6,191	103.7	1,125,947,400	5,946,118	5,964,233	11,910,351
	育成・肥育牛 (子牛等)	33,740	33,183	34,444	103.8	7,305,147,650	90,118,810	90,070,278	180,189,088
	種 豚	650	0	0	0.0	0	0	0	0
	肉 豚	39,320	26,000	35,120	135.1	349,152,000	133,909	83,587	217,496
	計	92,772	77,844	88,896	114.2	12,227,679,870	196,549,804	196,677,392	393,227,196
疾病 傷害 共済	乳用牛	9,424	9,360	9,555	102.1	183,283,755	54,271,904	54,321,088	108,592,992
	肉用牛	19,123	18,767	19,747	105.2	209,284,115	48,700,404	48,580,435	97,280,839
	計	28,547	28,127	29,302	104.2	392,567,870	102,972,308	102,901,523	205,873,831
合計	121,319	105,971	118,198	111.5	12,620,247,740	299,522,112	299,578,915	599,101,027	

支所別	項目 事業計 画頭数	搾乳牛 頭	繁殖用 雌牛 頭	育成乳牛 (子牛等) 頭	育成・肥育牛 (子牛等) 頭	種豚 (死) 頭	肉豚 頭	乳用牛 頭	肉用牛 頭	種豚 (病) 頭	計 頭	加入頭数 計画頭数
												%
東 部	18,995	1,446	1,217	1,195	8,473	0	535	1,642	5,648	0	20,156	106.1
中 部	43,020	4,136	1,873	3,120	20,439	0	0	4,802	10,700	0	45,070	104.8
西 部	43,956	2,656	1,813	1,876	5,532	0	34,585	3,111	3,399	0	52,972	120.5
計	105,971	8,238	3,686	6,191	34,444	0	35,120	9,555	19,747	0	118,198	111.5

(引受の概況)

- 農 家 数： 家畜共済加入農家数は、昨年度末から13戸の減少（新規加入4戸増加・廃業17戸減少）により実農家数で326戸となった。
- 頭 数： 肥育牛（東、中部）、肉豚（西部）で大規模農家の増頭があり、前年より全体で11,661頭の増となった。
- 共済金額： 共済金額は前年より死亡廃用共済が大規模農家の大幅な増頭により、約1億5千20万円、疾病傷害共済が約1千770万円増となった。

(事 故)

項目 畜種別	死 廃 事 故				項目 畜種別	病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金 円		件 数	支払共済金 円
搾 乳 牛	300	633	933	179,225,913	乳 用 牛	9,783	135,092,403
繁 殖 用 牛 雌	59	46	105	28,968,472	肉 用 牛	13,381	161,269,599
育 成 乳 牛 (子牛等)	334	17	351	18,286,460	種 豚	0	0
育 成・肥 育 牛 (子牛等)	1,146	173	1,319	174,521,904			
種 豚	0	0	0	0			
肉 豚	0	0	0	0			
計	1,839	869	2,708	401,002,749	計	23,164	296,362,002

項目 支所別	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金 円	件 数	支払共済金 円
東 部	364	154	518	112,328,276	4,541	58,200,910
中 部	1,054	471	1,525	187,040,392	10,988	151,404,291
西 部	421	244	665	101,634,081	7,635	86,756,801
計	1,839	869	2,708	401,002,749	23,164	296,362,002

(事故発生概況)

死廃事故：前年対比で181頭の増加となったが、支払共済金は前年より約735万円減少した。1頭あたりでは約12,000円減少した。要因として肉用牛は大型農家の増頭があり、大幅に引受頭数が増加したため、頭数、共済金とも増加したが、乳用牛は夏場が例年に比べ比較的涼しい気候が続き、頭数、共済金とも減少した。

病傷事故：前年対比で件数は1,896件、支払共済金は約1,290万円増加したが、1頭あたりでは537円減少した。頭数、共済金が増加した理由としては、診療所のカルテシステムの変更に伴い、診療中分も含め、全て転帰処理したためである。

(損害防止)

実施種目	対象頭数 又は台数	経費概算	摘 要
特定損害防止	頭(回) 0	円 0	
一般 損害 防止	畜舎消毒	3 300,000	疾病予防対策
	感染症予防	570 936,000	消化器及び泌乳器疾患予防対策
	合 計	573 1,236,000	

(実施状況等)

一般損害防止事業は、環境衛生指導等及び感染症予防対策として消化器病及び泌乳器病の対策を実施した。疾病予防対策として畜舎消毒器の購入助成を行った。

(診療所)

診療所名	職員数	管 内		診 療 件 数		損 害 防 止 事 業			摘 要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事 故 外	一 般	特 損	経費概算	
	人	頭	頭	件	件	頭(台)	頭(回)	円	
東部支所	3	6,937	7,290	1,498	1,270	111	0	283,000	
本 所	8	15,327	15,502	8,661	3,731	321	0	616,000	
西部支所	5	6,283	6,510	5,080	2,181	141	0	337,000	
計	16	28,547	29,302	15,239	7,182	573	0	1,236,000	

(概 況)

16名の獣医師で22,421件の診療を行った。前年対比では、共済事故が2,686件増加、事故外が158件増加した。また一般損害防止事業の一環として、消化器病感染予防注射570頭および畜舎消毒器3台の助成を実施した。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年産	区分	項目	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
					基準生産金額				
3 年 産	なし	なし	人	a	kg(円)	円	円	円	円
			356	11,524.3	946,992	462,100,000	7,952,510		
					392,061,445				
			ぶどう	40	930.9	78,130	37,860,000	568,293	
	かき	135	3,579.5	344,637	42,940,000	1,154,027			
	計	531	16,034.7		542,900,000	9,674,830	4,909,337	14,584,167	
4 年 産	なし	なし	人	a	kg(円)	円	円	円	円
			289	9,390.9	706,128	370,070,000	6,214,218		
					319,553,457				
			ぶどう	31	720.5	62,771	34,280,000	467,519	
	かき	100	2,597.2	255,519	33,370,000	896,434			
	計	420	12,708.6		437,720,000	7,578,171	3,883,894	11,462,065	

なし

年産	果樹共済保険区分	項目	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金
					基準生産金額		
3 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	a	kg(円)	円	円
		38	1,351.6	298,540	49,670,000	942,878	
		中 部	15	570.9	106,606	14,750,000	340,383
		西 部	4	80.0	15,531	3,070,000	60,169
		計	57	2,002.5	420,677	67,490,000	1,343,430
	全 相 殺 式	東 部	0	0.0	0	0	0
		中 部	79	2,379.0	526,315	82,960,000	1,830,110
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	79	2,379.0	526,315	82,960,000	1,830,110
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	87	2,674.5	127,883,168	101,820,000	1,662,875
		中 部	86	2,966.8	159,851,361	126,580,000	1,847,140
		西 部	47	1,501.5	104,326,916	83,250,000	1,268,955
計		220	7,142.8	392,061,445	311,650,000	4,778,970	
合 計	東 部	125	4,026.1		151,490,000	2,605,753	
	中 部	180	5,916.7		224,290,000	4,017,633	
	西 部	51	1,581.5		86,320,000	1,329,124	
	計	356	11,524.3		462,100,000	7,952,510	
4 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	33	1,197.9	246,342	42,030,000	775,026
		中 部	11	456.0	85,915	13,390,000	309,598
		西 部	4	106.9	12,473	2,280,000	66,539
		計	48	1,760.8	344,730	57,700,000	1,151,163
	全 相 殺 式	東 部					
		中 部	63	1,932.0	361,398	58,270,000	1,273,727
		西 部					
		計	63	1,932.0	361,398	58,270,000	1,273,727
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	71	2,063.2	109,161,888	86,950,000	1,397,614
		中 部	68	2,420.9	134,229,308	106,440,000	1,462,108
		西 部	39	1,214.0	76,162,261	60,710,000	929,606
		計	178	5,698.1	319,553,457	254,100,000	3,789,328
合 計	東 部	104	3,261.1		128,980,000	2,172,640	
	中 部	142	4,808.9		178,100,000	3,045,433	
	西 部	43	1,320.9		62,990,000	996,145	
	計	289	9,390.9		370,070,000	6,214,218	

災害収入共済方式の標準収穫量欄には、基準生産金額を記載

(引受の概況)

令和4年産引受は、前年対比戸数で81.2%引受面積で81.5%となった。主な減少要因としては収入保険への移行が32戸、約11haあり、有資格面積に対する農業保険（収入保険加入者含む）引受率は84.5%となった。

ぶどう

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金
	果樹共済保険区分						
3 年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	7	111.4	9,737	4,580,000	91,516
		中 部	4	104.0	10,295	3,380,000	86,890
		西 部					
		計	11	215.4	20,032	7,960,000	178,406
	全 相 殺 式 減 収 方 式	東 部	4	71.0	5,774	2,730,000	24,557
		中 部	25	644.5	52,324	27,170,000	365,330
		西 部					
	計	29	715.5	58,098	29,900,000	389,887	
	合 計	東 部	11	182.4	15,511	7,310,000	116,073
		中 部	29	748.5	62,619	30,550,000	452,220
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	40	930.9	78,130	37,860,000	568,293
4 年産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	5	89.4	8,076	3,970,000	59,871
		中 部	3	71.0	6,399	3,110,000	75,648
		西 部					
		計	8	160.4	14,475	7,080,000	135,519
	全 相 殺 式 減 収 方 式	東 部	2	30.0	2,747	1,440,000	12,273
		中 部	21	530.1	45,549	25,760,000	319,727
		西 部					
	計	23	560.1	48,296	27,200,000	332,000	
	合 計	東 部	7	119.4	10,823	5,410,000	72,144
		中 部	24	601.1	51,948	28,870,000	395,375
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	31	720.5	62,771	34,280,000	467,519

(引受の概況)

令和4年産引受は、前年対比戸数で77.5%引受面積で77.4%となった。主な減少要因としては廃園であり、収入保険への移行は2戸、約15aであった。有資格面積に対する農業保険（収入保険加入者含む）引受率は67.4%となった。

かき

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金
	果樹共済保険区分						
3 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	4	92.2	9,226	1,080,000	32,900
		中 部	2	64.2	6,613	590,000	17,146
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	6	156.4	15,839	1,670,000	50,046
	全相殺減 収方式	東 部	93	2,610.4	257,434	31,740,000	796,491
		中 部	0	0.0	0	0	0
		西 部	29	683.9	59,576	8,690,000	284,853
		計	122	3,294.3	317,010	40,430,000	1,081,344
	全相殺減 品質方式	東 部	0	0.0	0	0	0
		中 部	7	128.8	11,788	840,000	22,637
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	7	128.8	11,788	840,000	22,637
	合 計	東 部	97	2,702.6	266,660	32,820,000	829,391
		中 部	9	193.0	18,401	1,430,000	39,783
		西 部	29	683.9	59,576	8,690,000	284,853
計		135	3,579.5	344,637	42,940,000	1,154,027	
4 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	3	41.1	3,236	470,000	15,235
		中 部	1	42.7	4,236	420,000	11,653
		西 部					
		計	4	83.8	7,472	890,000	26,888
	全相殺減 収方式	東 部	71	2,037.3	196,634	25,320,000	617,038
		中 部					
		西 部	19	355.2	41,253	6,300,000	230,723
		計	90	2,392.5	237,887	31,620,000	847,761
	全相殺減 品質方式	東 部					
		中 部	6	120.9	10,160	860,000	21,785
		西 部					
		計	6	120.9	10,160	860,000	21,785
	合 計	東 部	74	2,078.4	199,870	25,790,000	632,273
		中 部	7	163.6	14,396	1,280,000	33,438
		西 部	19	355.2	41,253	6,300,000	230,723
計		100	2,597.2	255,519	33,370,000	896,434	

(引受の概況)

令和4年産引受は、前年対比戸数で74.1%引受面積で72.6%となった。主な減少要因は収入保険への移行が20戸、約773aあり、有資格面積に対する農業保険（収入保険加入者含む）引受率は63.4%となった。

(被害)

なし

項目		支所別	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金	
果樹共済保険区分						共 済 金 額	
3 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	kg (円)	円	%	
			17	65,510	5,945,500	12.0	
		中 部	7	20,681	1,170,500	7.9	
		西 部	1	1,558	108,000	3.5	
		計	25	87,749	7,224,000	10.7	
	全 相 殺 品質方式	東 部	0	0	0	0.0	
		中 部	21	70,900	7,331,800	8.8	
		西 部	0	0	0	0.0	
		計	21	70,900	7,331,800	8.8	
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	14	42,689	6,151,740	6.0	
		中 部	11	32,953	2,468,809	2.0	
		西 部	11	27,764	3,083,093	3.7	
計		36	103,406	11,703,642	3.8		

(災害収入共済方式の認定減収量欄には、生産金額の減少額を記載)

(被害及び評価の概況)

県下全域で4月10日の降霜によるめしべの枯死、4月18日の降雹による幼果の損傷、8月9日の台風9号による落下と多くの自然災害に見舞われ、金額被害率が高い年となった。

ぶどう

項目		支所別	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金	
果樹共済保険区分						共 済 金 額	
3 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	kg	円	%	
			0	0	0	0.0	
		中 部	0	0	0	0.0	
		西 部	0	0	0	0.0	
		計	0	0	0	0.0	
	全 相 殺 減収方式	東 部	0	0	0	0.0	
		中 部	0	0	0	0.0	
		西 部	0	0	0	0.0	
計		0	0	0	0.0		

(被害及び評価の概況)

特に大きな被害はなかった。

かき

項目		支所別	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金	
果樹共済保険区分						共 済 金 額	
3 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人	kg	円	%	
			2	3,622	211,400	19.6	
		中 部	0	0	0	0.0	
		西 部	0	0	0	0.0	
		計	2	3,622	211,400	12.7	
	全 相 殺 減収方式	東 部	27	40,576	3,803,400	12.0	
		中 部	0	0	0	0.0	
		西 部	11	11,620	1,108,700	12.8	
		計	38	52,196	4,912,100	12.1	
	全 相 殺 品質方式	東 部	0	0	0	0.0	
		中 部	4	5,712	359,400	42.8	
		西 部	0	0	0	0.0	
計		4	5,712	359,400	42.8		

(被害及び評価の概況)

4月10日の降霜による新芽の枯死が被害程度が大きく、収穫が皆無に近い園地もあった。そのほか炭疽病も県内各地で発生し大きな被害となり、金額被害率が非常に高い年となった。

(支 払)

項 目		支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
果樹共済保険区分			円	円	円	円	円	円	%
ぶどう	半相殺減収総合 一 般 方 式								
ぶどう	全 相 殺 減 収 方 式								
なし	半相殺減収総合 一 般 方 式	令和3年 12月27日	7,224,000						
なし	全 相 殺 品 質 方 式	令和4年 3月4日	7,331,800						
かき	半相殺減収総合 一 般 方 式	令和4年 3月28日	211,400						
かき	全 相 殺 減 収 方 式	令和4年 3月28日	4,912,100						
かき	全 相 殺 品 質 方 式	令和4年 3月28日	359,400						
合 計			20,038,700	11,799,725	7,116,225	1,122,750	0	0	100.0
なし	災 害 共 済 収 入 式	令和4年 3月28日	11,703,642	3,493,119	7,467,942	742,581	0	0	100.0

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

区分	項目	組 合 員 数	引 受 面 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
		人	a	kg	円	円	円	円
大 豆		136	35,141.3	339,029	54,480,977	2,015,404		
そ ば		155	9,274.7	21,986	5,973,474	460,372		
計	延 実	291 282	44,416.0	361,015	60,454,451	2,475,776	1,206,672	3,682,448
前年対比	延 実	△ 38 △ 36	△ 4,980.3	△ 66,369	△ 22,820,688	△ 831,164	△ 413,590	△ 1,244,754

大 豆

支所別	項目	組 合 員 数	引 受 面 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金
		人	a	kg	円	円
東 部		38	3,419.2	22,408	4,750,146	151,875
中 部		70	23,691.8	237,048	40,660,226	1,606,537
西 部		28	8,030.3	79,573	9,070,605	256,992
計	延 実	136 130	35,141.3	339,029	54,480,977	2,015,404
前年対比	延 実	△ 20 △ 19	△ 3,191.0	△ 63,146	△ 21,885,297	△ 741,016

(引受の概況)

令和3年産の引受面積は、約351haで昨年より約32ha減少した。引受減の要因は、作付面積の減少や収入保険移行により東部支所約26ha、西部支所約19haの減となった。中部支所においては、作付面積の増加により約13haの増となった。

そ ば

支所別	項目	組 合 員 数	引 受 面 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金
		人	a	kg	円	円
東 部		11	538.9	1,336	343,352	27,066
中 部		0	0.0	0	0	0
西 部		144	8,735.8	20,650	5,630,122	433,306
計	延 実	155 155	9,274.7	21,986	5,973,474	460,372
前年対比		△ 18	△ 1,789.3	△ 3,223	△ 935,391	△ 90,148

(引受の概況)

令和3年産の引受面積は、約93haで昨年より約18ha減少した。東部支所において、過去5年間の出荷実績を得たことによる全相殺方式の新規加入並びにインデックス方式の新規加入者が増えたことで約5haの面積増となった反面、西部支所において収入保険移行等により約23haの面積減になった。

大豆

(被害)

支所別	項目	被害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共 済 金	
					延 実	共済金額
東 部		6	1,001	327,262		6.9
中 部		25	38,438	7,325,725		18.0
西 部		7	2,638	462,733		5.1
計		38	42,077	8,115,720		14.9

(被害及び評価の概況)

県下全域において7月7日に発生した線状降水帯による豪雨及び7月12日までの降雨、その後の気温上昇によって初期生育が阻害され、発芽不良や枯死が発生した。また8月中旬の長雨によって土壌が湿潤状態になり生育不良が発生した。その他、東部・中部管内においてはイノシシやシカによる踏み倒しや食害が発生した。

そば

(被害)

支所別	項目	被害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共 済 金	
					延 実	共済金額
東 部		2	43	11,051		3.2
中 部		0	0	0		0.0
西 部		47	3,657	922,598		16.4
計		49	3,700	933,649		15.6

(被害及び評価の概況)

発芽後の8月9日及び8月13日から14日にかけての度重なる降雨により土壌が常に湿った状態のため、初期生育が阻害され生育不良が発生した。また、山間部ではイノシシによる踏み倒しや掘り起しの被害が発生した。

(支払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
大 豆		令和4年 3月30日	8,115,720						
そ ば		令和4年 3月30日	933,649						
計			9,049,369	4,622,729	3,665,796	760,844	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類		2	2	147	1,657,000	1,325,000	1,516	1,226	2,742
プラスチックハウスⅡ類		1,507	5,164	1,537,075	4,891,831,000	3,390,413,000	17,385,308	7,447,338	24,832,646
プラスチックハウスⅢ類		4	11	8,711	30,034,000	20,796,000	77,394	71,832	149,226
プラスチックハウスⅣ類(甲)		11	17	7,112	62,036,000	41,044,000	287,838	96,581	384,419
プラスチックハウスⅣ類(乙)		1	1	1,404	6,914,000	5,531,000	5,003	662	5,665
プラスチックハウスⅤ類		2	3	2,040	22,517,000	18,013,000	15,653	14,210	29,863
プラスチックハウスⅥ類		46	214	41,898	128,904,000	103,836,000	995,380	228,950	1,224,330
プラスチックハウスⅦ類		29	46	122,753	95,543,000	75,281,000	129,865	115,863	245,728
計		1,602	5,458	1,721,140	5,239,436,000	3,656,239,000	18,897,957	7,976,662	26,874,619

支所別	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
東 部		298	647	167,152	614,427,000	466,630,000	2,710,999		
中 部		769	3,631	1,232,429	3,812,175,000	2,531,002,000	12,297,967		
西 部		535	1,180	321,559	812,834,000	658,607,000	3,888,991		
計		1,602	5,458	1,721,140	5,239,436,000	3,656,239,000	18,897,957	7,976,662	26,874,619

(引受の概況)

戸別推進に加え県補助事業の要件化、集団加入制度の導入等など関係機関との連携により、前年対比266棟引受増となった。

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
	組合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施 設 内 農 作 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧	附 帯 復 旧		合 計
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅱ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅡ類	202	285	0	34,401,495	24,809,471	0	475,522	0	0	0	25,284,993	0.7
プラスチック ハウスⅢ類	1	1	0	659,706	329,853	0	0	0	0	0	329,853	1.6
プラスチック ハウスⅣ類(甲)	2	2	0	145,615	115,834	0	0	0	0	0	115,834	0.3
プラスチック ハウスⅣ類(乙)	1	1	0	320,248	256,198	0	0	0	0	0	256,198	4.6
プラスチック ハウスⅤ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅥ類	4	11	0	3,406,749	2,725,396	0	0	0	0	0	2,725,396	2.6
プラスチック ハウスⅦ類	3	3	0	171,679	137,341	0	0	0	0	0	137,341	0.2
計	213	303	0	39,105,492	28,374,093	0	475,522	0	0	0	28,849,615	0.8

項目 支所別	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
	組 合 員 数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施 設 内 農 作 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧	附 帯 復 旧		合 計
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
東 部	43	65	0		9,198,442	0	0	0	0	0	9,198,442	2.0
中 部	118	171	0		14,658,650	0	475,522	0	0	0	15,134,172	0.6
西 部	52	67	0		4,517,001	0	0	0	0	0	4,517,001	0.7
計	213	303	0	0	28,374,093	0	475,522	0	0	0	28,849,615	0.8

(被害及び評価の概況)

大きな災害としては、8月9日台風9号による被覆物損害、年末の積雪による本体倒壊。また、3月26日の突風は本体被害が多数出るほど大きな災害であり、3月事故の支払い共済金は1,800万円超となった。前年対比棟数で278.0%、支払共済金で210.6%の被害であった。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保険金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
28,849,615	7,766,853	21,082,762	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

①建物共済
(引受)
ア. 農家建物

種類	項目	加入 件数	加入 棟数	共済金額	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平均共済金額	保 険 料	保 険 手 数 料
					純共済掛金	賦 課 金			
		戸	棟	円	円	円	円	円	円
火 災	東 部	9,209	17,394	195,915,770,000	85,797,322	70,209,141	11,263,411		
	中 部	6,233	10,330	141,788,000,000	62,738,617	51,326,136	13,725,847		
	西 部	8,456	15,716	171,903,310,000	75,570,798	61,822,069	10,938,108		
	計	23,898	43,440	509,607,080,000	224,106,737	183,357,346	11,731,286		
総 合	東 部	2,536	3,269	30,272,100,000	55,859,390	18,623,664	9,260,355		
	中 部	2,186	2,704	25,182,280,000	46,231,675	15,471,216	9,312,973		
	西 部	3,513	4,945	45,077,290,000	82,242,087	27,511,539	9,115,731		
	計	8,235	10,918	100,531,670,000	184,333,152	61,606,419	9,207,883		
合 計	東 部	11,745	20,663	226,187,870,000	141,656,712	88,832,805	10,946,516		
	中 部	8,419	13,034	166,970,280,000	108,970,292	66,797,352	12,810,364		
	西 部	11,969	20,661	216,980,600,000	157,812,885	89,333,608	10,501,941		
	計	32,133	54,358	610,138,750,000	408,439,889	244,963,765	11,224,452	232,135,463	69,409,812

(引受の概況)

農家数の減少をはじめ、高齢化や世代交代による継続中止が要因となり、前年共済金額に対して県計で187億円の減(火災共済220億円減、総合共済33億円増、△3.0%)となった。

(事 故)
ア. 農家建物

種類	項目	共済金額	事故棟数	支 払 共 済 金	保 険 金	被 害 率
火 災	東 部	195,915,770,000	49	3,970,794	1,191,228	0.002
	中 部	141,788,000,000	47	69,520,077	20,856,014	0.049
	西 部	171,903,310,000	58	6,598,663	1,979,586	0.004
	計	509,607,080,000	154	80,089,534	24,026,828	0.016
総 合	東 部	30,272,100,000	192	47,735,334	14,320,546	0.158
	中 部	25,182,280,000	108	23,804,015	7,141,172	0.095
	西 部	45,077,290,000	272	66,345,698	19,903,620	0.147
	計	100,531,670,000	572	137,885,047	41,365,338	0.137
合 計	東 部	226,187,870,000	241	51,706,128	15,511,774	0.023
	中 部	166,970,280,000	155	93,324,092	27,997,186	0.056
	西 部	216,980,600,000	330	72,944,361	21,883,206	0.034
	計	610,138,750,000	726	217,974,581	65,392,166	0.036

(事故の概況)

令和3年度は、被害棟数が前年対比226.9%と増加したものの、支払共済金は前年対比96.3%(△846万円)と前年を下回った。火災による全焼事故は4棟発生し7,086万円の支払いとなった。

イ. 建物共済原因別事故発生状況

事故原因		加入総共済金額 (イ)	事故棟数	支払共済金 (ロ)	保 険 金	支 払 率 (ロ) / (イ)	備 考
		円	棟	円	円	%	
火 災	火 災	125,400,000	14	65,893,594	19,768,074	52.547	
	落 雷	859,000,000	40	7,265,369	2,179,597	0.846	
	そ の 他	1,633,780,000	100	6,930,571	2,079,157	0.424	
	小 計	2,618,180,000	154	80,089,534	24,026,828	3.059	
総 合	火 災	36,000,000	4	7,723,873	2,317,161	21.455	
	落 雷	199,000,000	18	2,689,148	806,739	1.351	
	自 然 災 害	5,320,640,000	486	123,455,151	37,036,388	2.320	
	そ の 他	741,920,000	64	4,016,875	1,205,050	0.541	
	小 計	6,297,560,000	572	137,885,047	41,365,338	2.189	
合 計	8,915,740,000	726	217,974,581	65,392,166	2.445		

②農機具共済

(引 受)
ア. 農機具損害共済引受状況

種 類	項 目	加入 件数	加入 台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台あたり 共済金額	保 険 料	保険手数料
					純共済掛金	賦 課 金			
		戸	台	円	円	円	円	円	円
火 災	東 部	126	547	267,920,000	175,009	108,061	489,799		
	中 部	65	260	140,190,000	91,380	56,533	539,192		
	西 部	89	345	151,060,000	93,367	60,053	437,855		
	計	280	1,152	559,170,000	359,756	224,647	485,391		
総 合	東 部	653	1,277	2,035,460,000	11,540,570	2,435,582	1,593,939		
	中 部	743	1,888	3,698,030,000	20,059,049	4,378,240	1,958,702		
	西 部	524	1,478	2,870,850,000	15,283,557	3,348,606	1,942,388		
	計	1,920	4,643	8,604,340,000	46,883,176	10,162,428	1,853,185		
合 計	東 部	779	1,824	2,303,380,000	11,715,579	2,543,643	1,262,818		
	中 部	808	2,148	3,838,220,000	20,150,429	4,434,773	1,786,881		
	西 部	613	1,823	3,021,910,000	15,376,924	3,408,659	1,657,658		
	計	2,200	5,795	9,163,510,000	47,242,932	10,387,075	1,581,279		

(引受の概況)

令和3年度の引受台数は、火災共済で34台の減少、総合共済では81台の増加となり、全体として前年対比47台の増となった。機械の大型化に伴う加入金額の増額もあり、総共済金額は前年対比で約3億2千万円の増加となった。

(事 故)

ア. 農機具損害共済支払状況

種 類		項 目	共済金額 (イ)	事故台数	支 払 共 済 金 (ロ)	保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
火 災			円 559,170,000	台 0	円 0	円 0	% 0.000
総 合	東 部		2,035,460,000	38	5,225,393	0	0.257
	中 部		3,698,030,000	64	18,250,976	0	0.494
	西 部		2,870,850,000	48	17,753,299	0	0.618
	計		8,604,340,000	150	41,229,668	0	0.479

(事故の概況)

令和3年度の事故件数は、接触・衝突等の稼働中の事故や自然災害による格納庫の倒壊などで、前年対比19件の増となり、支払共済金は約1,542万円の増加となった。

イ. 農機具損害共済原因別事故発生状況

事故原因		項 目	加入総共済金額 (イ)	事故台数	支払共済金 (ロ)	支 払 率 (ロ)/(イ)
火 災	格納中火災		円 0	台 0	円 0	% 0.000
総 合	火 災 及 び 稼働中	接 触 衝 突	394,270,000	109	18,304,392	4.643
		転 覆 墜 落	19,600,000	4	12,116,433	61.819
		火 災	2,000,000	1	113,630	5.682
		そ の 他	140,040,000	36	10,695,213	7.637
	小 計	555,910,000	150	41,229,668	7.417	
計			555,910,000	150	41,229,668	7.417

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

① 農機具更新共済引受状況

支 所	項 目	加入台数	共済金額	減価共済金	共 済 掛 金		
					純 共 済 掛 金		賦課金
					損害部分	減価部分	
		台	円	円	円	円	円
東 部		0	0	0	0	0	0
中 部		0	0	0	0	0	0
西 部		0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0

(事 故)

① 農機具更新共済支払状況

支所別	総共済金額 (イ) 円	事故件数 件 台		期間満了 台数 台	支 払 共 済 金			被害率 (ロ) / (イ) %
					火災等事故 (ロ) 円	期間満了 によるもの 円	計 円	
東 部	0	0	0	0	0	0	0	0.000
中 部	0	0	0	0	0	0	0	0.000
西 部	0	0	0	0	0	0	0	0.000
計	0	0	0	0	0	0	0	0.000

② 農機具更新共済原因別事故発生状況

事故原因	総共済金額 (イ) 円	事故台数 台	支払共済金 (ロ) 円	支 払 率 (ロ) / (イ) %
衝 突	0	0	0	0.000
接 触	0	0	0	0.000
火 災	0	0	0	0.000
そ の 他	0	0	0	0.000
計	0	0	0	0.000

(8) 農業経営収入保険関係

(加入状況)

項目 経営体	加入 経営体	基準収入額 円	保 険 部 分		積 立 部 分	
			保険限度額 円	保険金額 円	基準補てん金額 円	補償対象金額 円
個人経営	1,532	10,776,609,192	8,573,362,449	7,629,346,724	1,031,801,349	907,849,802
法人経営	90	3,280,494,499	2,619,918,476	2,345,941,941	326,176,819	286,628,129
計	1,622	14,057,103,691	11,193,280,925	9,975,288,665	1,357,978,168	1,194,477,931

項目 経営体	加入者負担 保険料 円	加入者負担 積立金 円	事務費 円
個人経営	83,953,909	226,962,948	23,383,028
法人経営	24,289,605	71,657,063	5,455,478
計	108,243,514	298,620,011	28,838,506

令和3年4月～令和4年3月に保険期間が開始した加入経営体

(保険金等支払状況)

項目 経営体	支払済み 経営体数	支払済み 保険金・積立金 円
個人経営	147	133,702,179
法人経営	0	0
計	147	133,702,179

* 令和4年3月末現在、支払いが完了した経営体

主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
3 4 1	採用・異動辞令交付式(本所)
5	第1回監事会(本所)
5~9	新入職員研修(本所)
8	果樹共済(梨)栽培研修(北栄町) 収入保険に係るテレビ会議(本所)
15	ビジネスマナー研修(本所)
16	第1回人事評価研修(各拠点テレビ研修)
19	収入保険助成に係る鳥取県副知事との懇談会(鳥取市)
22	全国広報参事会議(本所・テレビ会議)
23	都道府県農業保険主管課長会議・参事会議(本所・テレビ会議)
26~30	定期(決算)監査(本所、各支所、各家畜診療所)
27	園芸施設共済テレビ会議(本所)
28	収入保険セールストーク研修会(本所・各支所テレビ研修)
30	柿、梨等霜雹害緊急支援事業説明会(北栄町) 農工大(獣医)合同就職説明会(本所・テレビ説明会)
5 7	定期(決算)監査講評(本所)
11	中国地区組合長会議(本所・テレビ会議)
11~14	農機具共済専門講習会(本所・テレビ研修)
13	第1回理事会(本所)
17	鳥取県産米協会監事会(鳥取市) 大山町長との収入保険助成に係る面談(大山町)
18	農作物(麦)共済現地研修会(北栄町) 農作物・畑作物共済担当者会議(本所)
19	第1回理事総務委員会(本所) 鳥取大学農学部共同獣医学科就職説明会(本所・テレビ会議) 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会総会(本所・テレビ会議)
24~28	令和3年度普及推進研修会初級コース(本所・テレビ研修)
25	米子市長との収入保険助成に係る面談(米子市) 第1回余裕金運用管理委員会(本所) 水稻栽培研修(各支所)
26	収入保険・総務担当者会議(本所支所間テレビ会議)
28	第8回通常総代会(本所) 第2回理事会(本所) 鳥取県植物防疫協会幹事会及び総会(鳥取市) 収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
31	麦共済見廻り調査(管内) 鳥取県中西部地域畜産クラスター協議会幹事会(琴浦町)
31~6/4	広報技術研修会(本所・テレビ研修)
6 1	梨栽培研修会(北栄町)
3	農業共済新聞普及に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
3~4	システム運用管理者養成研修会(本所・テレビ研修)
7	鳥取県農業再生協議会内部監査(鳥取市)
7~11	中間指導職養成研修(西部支所・テレビ研修)
8	キャリアコンサルティングガイダンス研修(テレビ研修)
9~10	農水省主催家畜共済研修会(本所・テレビ研修)
10	鳥取県中西部地域畜産クラスター役員会・通常総会(琴浦町)
16	鳥取県農業保険普及推進協議会監査(本所)
17	事業二課担当者会議(本所) 収入保険タブレット操作説明会(本所・テレビ研修)
18	収入保険担当者テレビ研修(本所・テレビ研修)
22	家畜診療研究発表会(診療所本所)
23	経営所得安定対策様式1号入力説明会(本所・テレビ会議)
24	キャリアコンサルティング(東部支所) 全国農業共済組合連合会通常総会(本所・テレビ会議) 全国農業共済協会通常総会(本所・テレビ会議) 全国組合長会議(本所・テレビ会議)
25	キャリアコンサルティング(中部支所)

年 月 日	処 理 事 項
6 25	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
28~7/2	全国連第13回通常総会議決事項に係るテレビ会議(本所・テレビ)
28	第2回普及推進研修会中級コース(本所・テレビ研修)
	中国地区家畜担当者会議(本所・テレビ会議)
	鳥取県産米改良協会合同会議(北栄町)
29	任意共済損害評価技術研修会(本所・テレビ研修)
30	鳥取県畜産推進機構定時総会(鳥取市)
	高収益作物次期作支援交付金テレビ会議(本所・テレビ会議)
7 1	鳥取県農業保険普及推進協議会幹事会(本所)
2	農業簿記内部研修会(各支所・テレビ研修)
4	農業簿記検定(本所)
5	鳥取県農業再生協議会幹事会(鳥取市)
	鳥取県農業保険普及推進協議会総会(本所)
7	ワクチン職域接種説明会(各支所・テレビ会議)
7~8	農水省主催園芸施設共済研修会(本所・テレビ研修)
8	中国しゃくなげ会臨床関係獣医師研修会(本所・テレビ研修)
9	農水省主催果樹共済研修会(本所・テレビ研修)
	柿梨霜害被害対策説明会(北栄町)
10	JA鳥取県青壮年連盟夏季研修会での収入保険説明(鳥取市)
12	温度センサー検討テレビ会議(本所・テレビ会議)
13	ワクチン職域接種シミュレーション(中部会場)
13~16	第1回初級管理職研修会(本所・テレビ研修)
14	農業保険外交員研修会(本所・テレビ研修)
15	共通申請サービスの開始に係る説明会(本所・テレビ会議)
16	柿梨等霜害被害総合対策事業に係る説明会(倉吉市)
	ワクチン職域接種シミュレーション(西部会場)
17	ワクチン職域接種シミュレーション(東部会場)
19	損害評価会麦支所部会代表者会議(本所)
	常例検査に係る県庁ヒアリング(本所)
20	監事(随時)監査(本所、各支所、各診療所)
	中国地区広報担当者会議(本所・テレビ会議)
21	第1回任意共済事業推進担当者会議(本所・テレビ会議)
	大雨被害対策関係事業に係る説明会(倉吉市)
21~30	コロナ特別警報による西部支所交代勤務
27	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
	特例年金制度完了組織対策協議会総会(鳥取市)
30	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
	支所長・本所管理職合同会議(本所・テレビ会議)
	広報担当者会議(本所・テレビ会議)
8 1	農業保険予算要請活動(地元選出国會議員)
3	収入保険担当者会議(本所・テレビ会議)
	獣医師を目指す高校生セミナー(本所・テレビ会議)
4	事業一課担当課長会議(本所・テレビ会議)
	事業二課担当課長会議(本所・テレビ会議)
5	農業版BCP普及推進説明会(本所・テレビ会議)
10	中国地区建物共済地震災害等損害評価研修会(本所・テレビ会議)
17	収入保険に係る鳥取県知事面談(組合長)
17~20	システム運用管理者養成研修会(本所・テレビ研修)
18	事業運営検討(事務機械化)会議(本所・テレビ研修)
19	第2回理事総務委員会(本所)
	第2回余裕金運用管理委員会(本所)
20	任意共済担当者会議(本所・テレビ会議)
23	獣医師採用試験(本所)
24	「安心の未来」拡充運動全国推進会議(本所・テレビ会議)
25	農水省主催園芸施設共済研修会(本所・テレビ研修)
26	梨栽培研修(北栄町)
	損害評価会農作物共済(麦)部会(東部支所)
27	第2回人事評価研修会(テレビ研修)
	水稻共済評価研修会(本所・テレビ会議)

年 月 日	処 理 事 項
8 27	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
30	第5回全国和牛能力共進会鳥取県推進委員会(鳥取市)
31	第3回理事会(本所) 第2回監事会(本所)
9 1	神戸大学学生との収入保険に係る懇談会(本所・テレビ会議)
8	第2回全国特定組合長会議(本所・テレビ会議) 第139回全国農業共済協会臨時総会(本所・テレビ会議) 第14回全国農業共済組合連合会臨時総会(本所・テレビ会議) 農作物(水稲)共済テレビ会議(本所)
9	野菜価格安定対策事業と収入保険の合同打合せ会(本所・テレビ会議)
10	水稲共済支所部会代表者見回り(東部支所管内)
11~12	新型コロナウイルスワクチン職域接種1回目(鳥取市、倉吉市、米子市)
13	農水省ヒアリング(本所・テレビ会議) 令和3年度第2回収入保険担当者等研修会(本所・テレビ会議) 水稲栽培実地研修会(東部支所)
14	水稲共済支所部会代表者見回り(西部支所管内)
16	水稲共済支所部会代表者見回り(中部支所管内)
17	新型コロナウイルスワクチン職域接種1回目(鳥取市、倉吉市、米子市)
18~20	第12回農林漁業信用基金農業保険関係業務運営委員会(東部支所・テレビ会議)
21	水稲栽培実地研修会(中部支所)
23	新型コロナウイルスワクチン職域接種1回目(倉吉市)
26	新型コロナウイルスワクチン職域接種1回目(米子市)
28	令和3年度農水省主催収入保険研修会(本所・テレビ会議)
29	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議) 第2回事業運営検討会(事務機械化)(本所・テレビ会議) 鳥取県産米改良協会合同会議(鳥取市)
30	事業二課担当者会議(本所・テレビ会議)
10 2~3	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(倉吉市)
5	組合運営課題検討小委員会(東部支所) 水稲栽培実地研修会(西部支所)
6	全国参事会議(東京都)
7	西日本参事会議(東京都)
9~10	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(鳥取市)
10	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(米子市)
12	畑作物共済現地研修会(本所) 組合運営課題検討小委員会(中部支所) 組合運営課題検討小委員会(西部支所)
13	新人職員指導担当職員研修会(各支所・テレビ研修)
16	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(米子市)
17	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(倉吉市) 一般職員採用一次試験(各支所)
18~22	定期(中間)監査(本所、各支所、各診療所)
20~22	第1回上級管理職研修会(東部支所・テレビ研修)
21	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議) 令和3年度診療技術向上研修(本所・テレビ研修)
23	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(鳥取市)
24	新型コロナウイルスワクチン職域接種2回目(鳥取市、米子市)
25	畑作物共済(大豆)支所部会代表者見回り(中部支所管内) 家畜診療所長、支所長会議(本所)
26	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
27	定期(中間)監査講評(本所)
28	水稲共済の加入推進に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
29	家畜共済掛金標準率等の一部改正に係る全国説明会(本所・テレビ会議)
11 1	第3回理事総務委員会(本所)
2	任意共済全国研修会(本所・テレビ研修)
4	美しく豊かなむらづくり大会(湯梨浜町)
5	防災訓練(全拠点) 農水省主催法令研修(本所・テレビ研修) 農作物共済担当者会議(本所)
8~10	中堅獣医師講習会(本所・テレビ研修)

年 月 日	処 理 事 項
11 9	米価下落意見交換会(倉吉市)
11~12	家畜診療等技術中国四国地区発表会(本所・テレビ会議)
12	一般職員採用二次試験(本所)
15~19	第2回広報技術研修会
16	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
17	東京農工大学の地域枠入試に係る説明会(本所・テレビ説明会) 第4回理事会(本所) 第3回余裕金運用管理委員会(本所)
19	農作物共済(水稲)支所部会代表者会議(本所) JA共済連定期会議(本所)
24	農業保険関係予算陳情(東京都)
25	全国NOSAI大会(東京都)
26	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議) 農機具共済評価員会(本所) 家畜診療所長・支所長会議(本所)
29~12/3	内部監査(本所、各支所、各家畜診療所)
29	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
30	鳥取県農業再生協議会幹事会(鳥取市)
30~12/3	第2回初級管理職研修会(東京都)
12 1	生産獣医療技術研修(本所・WEBセミナー)
2	任意共済事業推進担当者会議(本所・テレビ会議)
3	LACシステム視察研修(島根県)
6~10	建物共済専門講習会(東京都)
6	果樹共済農水省ヒアリング(本所・テレビ会議)
7	農作物共済担当者会議(本所)
8	農水省主催経理研修会(本所・テレビ研修) 鳥取県農業再生協議会総会(鳥取市) 家畜共済地区別協議会および産業動物獣医師に関する獣医学系大学との懇談会(本所・テレビ会議) 生産獣医医療技術研修(本所・WEBセミナー)
9	鳥取県産米改良協会技術向上研修会(北栄町) 農業用ハウスの雪害対策研修会(北栄町)
13	損害評価会農作物共済(水稲)部会(東部支所)
15	農作業安全指導者研修会(北栄町) 損害評価会果樹共済(なし・ぶどう)部会(東部支所) 生産獣医医療技術研修(本所・WEBセミナー) 畑作物共済及び果樹共済の共済掛金標準率の一般改定料率改定に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
16	農機具共済評価会議(本所)
17	全国表彰者への表彰状授与式(本所) 第5回理事会(倉吉市) 役員研修会(倉吉市)
22	生産獣医医療技術研修(本所・WEBセミナー)
23	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
24	事業二課担当者会議(本所) 鳥取県特定鳥獣保護管理検討会(鳥取市)
29	仕事納め
4 1 5	仕事始め式(本所) 家畜診療所長・支所長会議(本所)
6	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
13	農水省主催令和4年の農作物・果樹・畑作物共済の加入推進会議(本所・テレビ会議)
17~28	農水省及び鳥取県による常例検査(各拠点・農水省はテレビ対応)
21	鳥取県中西部地域畜産クラスター幹事会・役員会(本所・テレビ会議)
24	常例検査代表監事ヒアリング(本所・テレビ会議)
25	鳥取県果実出荷安定基金協会理事会(本所・テレビ会議)
27	常例検査組合長ヒアリング(本所・テレビ会議) 都道府県農業保険制度関係担当者及び農業共済組合連合会等総務・指導担当者合同会議(本所・テレビ会議)
28	常例検査講評(本所・テレビ会議) 鳥取県産米改良協会合同会議(鳥取市)

年 月 日	処 理 事 項
1 28	家畜診療所長・支所長会議(本所)
31	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議)
2 3	経営所得安定対策に係る打ち合わせ会(本所)
7	畑作物共済(大豆)支所部会代表者会議(本所・テレビ会議)
8	第3回事業運営検討会(事務機械化関係)(本所・テレビ会議)
9	第2回随時監査(本所、各支所、各診療所)
10	第6回理事会(本所) 第4回余裕金運用管理委員会
14	果樹共済金に掛かる農水省ヒアリング(本所・テレビ会議) 事業一課担当課長会(本所)
15	全国広報員会議・農業共済新聞全国研修会(本所・テレビ会議) 収入保険に掛かるテレビ会議(本所・テレビ会議)
16	中国地区広報担当者会議(本所・テレビ会議) 第3回全国参事会議(本所・テレビ会議) 家畜診療等都道府県幹事会(本所・テレビ会議)
18	指定獣医師講習会(本所・テレビ会議)
21~22	家畜診療等技術全国研究集会(本所・テレビ会議)
21	肉用牛繁殖技術シンポジウム(本所・テレビ会議) 損害評価会果樹共済部会(本所・テレビ会議) 鳥取県中西部畜産クラスター監査、総会(琴浦町)
22	第11回臨時総代会(本所)
24	会計検査農林3課説明会(本所・テレビ会議)
25	第3回収入保険担当者研修会(本所・テレビ研修)
28	定年退職者向けセミナー(本所) 総務担当者会議(本所・テレビ会議) 第3回人事評価研修会(本所・テレビ会議)
3 1	理事事業第一委員会(本所)
1~4	初級管理職研修会(本所・テレビ研修)
2	家畜診療所運営委員会(本所) 理事事業第二委員会(本所)
3	植物防疫協会会幹事会(本所・テレビ会議)
4	障害者雇用納付金制度事務説明会(倉吉市)
7	鳥取県産米改良協会合同会議(鳥取市)
8	第4回理事総務委員会(本所) 第5回余裕金運用管理委員会
9	広報担当者会議(本所・テレビ会議) 農機具損害評価員会(本所)
10	損害評価会家畜共済部会(東部支所) コンプライアンス及び人権研修会(各拠点)
11	果樹共済金に掛かる農水省ヒアリング(本所・テレビ会議) NOSAI情報化全国会議(本所・テレビ会議)
14~18	内部監査(本所、各支所、各診療所)
15	損害評価会畑作物共済部会(東部支所) 第7回理事会(本所)
17	鳥取県農業再生協議会幹事会(鳥取市)
18	損害評価会果樹共済部会(東部支所) 中国四国地区事務機械化情報交換会(本所・テレビ会議) 広報研修会(本所・テレビ会議)
22	農作物共済中国地区担当部課長会(本所・テレビ会議)
23	農水省主催農作物・畑作物共済研修会(本所・テレビ研修)
24	第4回全国組合長会議(東京都) 全国農業共済協会臨時総会(東京都) 全国農業共済組合連合会臨時総会(東京都)
25	第3回任意共済事業推進担当者会議(本所・テレビ会議)
28	鳥取県農業再生協議会総会(鳥取市)

年 月 日	処 理 事 項
3 29	収入保険に係るテレビ会議(本所・テレビ会議) 鳥取県産米改良協会合同会議(北栄町) 鳥取県主要農作物奨励品種改廃協議会技術部会(北栄町)
30~31	中国地区農業共済組合参事会(山口県)
31	鳥取県畜産推進機構臨時総会(鳥取市)
	退職辞令交付式(本所)

イ 総代会

(1) 第8回通常総代会

(令和3年5月28日開催)

総代会日現在総代数 (A)	152 人	出席率
本人出席 (B)	13 人	(B)/(A) 8.6 %
代理出席	0 人	
書面出席	138 人	
出席者計 (C)	151 人	(C)/(A) 99.3 %

重要な議決及び議決事項

- 1 事業規程一部変更の件
- 2 諸内規則一部変更の件
- 3 農作物(麦)共済危険段階基準共済掛金率等設定方法の件
- 4 農業共済事業のニーズ調査に関する承認の件
- 5 業務報告書承認の件[令和2年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分(不足金処理)案]
- 6 令和3年度事業計画並びに収支概算書設定の件
- 7 令和3年度事務費賦課金徴収方法決定の件
- 8 特別積立金取崩しの件
- 9 実施体制の改善計画策定の件
- 10 令和3年度役員、損害評価会支所部会委員、共済部長及び顧問の報酬額決定の件
- 11 令和3年度借入金最高限度額等決定の件
- 12 令和3年度余裕金預入先決定の件
- 13 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員選任承認の件
- 14 附帯決議の件

(2) 第11回臨時総代会

(令和4年2月22日開催)

総代会日現在総代数 (A)	150 人	出席率
本人出席 (B)	10 人	(B)/(A) 6.7 %
代理出席	0 人	
書面出席	140 人	
出席者計 (C)	150 人	(C)/(A) 100.0 %

重要な議決及び議決事項

- 1 定款一部変更の件
- 2 事業規程一部変更の件
- 3 果樹共済収穫危険段階基準共済掛金率等設定方法の件
- 4 畑作物共済危険段階基準共済掛金率等設定方法の件
- 5 附帯決議の件

ウ 組合員の増減

	年度始組合員数	年度末組合員数	増減(△)
東 部	10,925 人	10,625 人	△ 300 人
中 部	7,603 人	7,392 人	△ 211 人
西 部	10,050 人	9,884 人	△ 166 人
合 計	28,578 人	27,901 人	△ 677 人

エ 役職員その他

(ア) 役職員

役員数	理 事						監 事			合 計	
	常勤 人			非常勤 15 人			4 人			19 人	
職員数	事項 性別	参 事	部長・ 支所長	農・畑 作物	家 畜	診療所	果 樹	園芸施設	任 意	総 務	合 計
	男	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	女			3	3	5	2	3	1	6	23
	計	1	4	19	16	15	7	7	9	23	101

(イ) 職員勤務場所

場所 性別	東部支所	中部支所	西部支所	本所	診療所	計
男	人 14	人 18	人 17	人 19	人 10	人 78
女	5	3	4	6	5	23
計	19	21	21	25	15	101

(ウ) 総代、共済部長、損害評価会委員、損害評価員

総 代	共済部長	損害評価会委員	損害評価員
人 150	人 2,415	人 160	人 2,043